

# こうみょう

第18号

この如来にょらいは光明こうみょうなり。光明こうみょうは智慧ちえなり。

智慧ちえはひかりのかたちなり。

親鸞しんらん聖人しょうにん著作しよさく『一念多念文意いちねんたねんもんい』

今年の上半期は、ただただ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大におびえ、経済活動・消費活動を投げ捨てても、決して感染することの無いよう、一人ひとりが、いのちを守ることを最優先に行動してきました。

お寺の状況も、経済活動の自粛の影響を大きく受けることとなりました。3月以降のご法事は、その9割が中止となり、お寺でのつどいもストップしておりました。光明寺には境内墓地がありませんので、お寺にお見えになる方は、激減いたしました。その様な中、いずれお寺に足を運んでいただけの日が来ることを願い、それまでのお寺からの情報発信の手段として「ユーチューブ」のチャンネルを開設いたしました。

これは、あくまで「つなぎ」の手段です。やはり、仏の教えは面受口訣めんじゆくけつ（めんじゆくけつ・人と人が向き合い教えが伝わっていくこと）であるべきです。本来は「場」が大切なのです。

6月からは、お寺のつどいも再開いたしました。感染に怯えつつも、コミュニティを回復していきたいと思っています。



三密を避け、ソーシャルディスタンスを確保した参詣席

第18号

2020年7月1日発行

発行責任者

〒135-0013

東京都江東区千田9-7

真宗大谷派 光明寺

住職 小林尚樹

電話：03-3644-3043

ホームページ：

<http://koumyouji-fukagawa.or.jp/>

# いま、思ひこぼす

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に怯えた日々を過ごしてきました。

はじめのうちは、今のような状況は全く想像もしていませんでした。新しいタイプのインフルエンザのようなウイルスが流行りだしたようだけど、まあ薬を飲んで、しばらく休んでいれば回復する。それくらいなの、ちょっと厄介なウイルス程度に思っていました。

でも、あつという間に感染が世界に広がり、この新型コロナウイルスに効く薬もワクチンも分からない……。なおかつ、このウイルスは重い肺炎を引き起こし、多くの人を死に至らしめました。

すぐに世界はパニックに陥りました。

人の歴史は、感染症との闘いの歴史だといわれます。または、本来、生物はウイルスと共に生きてきたのだ、ともいわれます。

そもそも、このウイルスが人間に寄生せざるをえなくなったような環境を作り出したのは、人間の責任なのだということもお聞きしました。

人間が生きやすい社会を創ることを最優先に、自然環境を破壊し、生態系を乱して来たことにより、本来、人間以外に棲み家を持っていたウイルスの行き場を人間が変えてしまったのかもしれない。

人間の利便性のために作られた飛行機が、ウイルスをあつという間に世界中に運び、感染を広げてしまいました。

私たちは、どこか間違っていたのでしょうか。私たちは、被害者なのでしょうか。

仏教は一人の人間が真理を覚り、その覚りを他者に語ったところからはじまりました。真理を覚るとは、本当のことがわかったということでしょう。それは同時に、本当ではないということもわかったことになります。

仏の教えは、私たちに何が本当かを問いかけています。それは、私たちの生活や価値観が「間違っているのではないか」との問いかけなのだ、私は受け止めております。

感染の恐れにより、法事が中止になり、お寺に来る方が激減しました。どこにいても、この私を問い正す眼を大切にしたいものです。

## 「YouTube」を始めました

新型コロナウイルスの感染拡大を恐れて、自粛生活の日々が続いておりました。

「ご法事も9割がキャンセルになり、お寺にはほとんど人が来ることはなくなりました。ひっそりとした本堂に座り、今できることは何なのか、考えました。

お寺という場のはたらきを皆さんとつないでいくためには、離れた状態でも伝える努力はしていきたい……。そんな中で、「よし、YouTubeで配信しよう」と思い至りました。

チャンネルの名前は「語り場 光明寺」です。検索していただいたら、出てきます。

絵本やアニメを題材とした短いお話や、永代経法要の様様などを見ることが出来ます。



アニメ「キングダム」のお話をしています



永代経法要の様様です

見たいけどやり方がわからない方。ご連絡ください。全力で教えます!!

仏事について…ことが知りたい!

## お盆について

とう  
倒懸

—わかさまといひこいひ—

お盆とは、くわしくは「盂蘭盆」と書きま  
す。インドのウランバナという言葉が元  
なっていて、「倒懸」ともいわれます。それは、  
頭を下にして足を吊らされてさかさまにな  
っていることを意味しています。そのさかさ  
まになって苦しんでいる人をたすけようと  
いうのがお盆のはじまりです。

今日、お盆といえは、だいたい亡くなっ  
た人がこの世に帰ってくる日といわれてい  
て、そのためにたくさんのお供えを用意した  
り、お墓まで迎えに行ったり送ったりする習  
慣にもなっているようです。それは、その人  
のために何かしてあげないといけない、お供  
えをすることが大切だ、と考えるからでし  
ょう。

しかし、亡くなった人はそんなことを私た  
ちに願っているでしょうか。またお供えによ

って喜ばせたり、苦しみから助け出したりと  
いうことができるのでしょうか。

よく考えてみれば、亡くなった人は、すで  
に喜びや怒りや、哀しみや楽しみなどのない  
静かな世界にいつてしまわれたのです。ちよ  
つとしたことに腹を立てたり悩んだりして  
いるのは、私たちの方です。亡くなった人を  
どうにかしなければいけないと考えるより  
も、私たち自身の生き方がはつきりしなけれ  
ばならないのです。

テレビがあれば、今度はビデオやファミコ  
ンが欲しくなり、それが手に入らないとつま  
らなく思ってしまう。そして思いどおり  
にならない原因を他の人のせいにして、自分  
の考えは間違っていないと思うのです。それ  
こそが、さかさまになっている生き方です。  
亡くなった人は「いのちある者は必ず死ぬ  
んだよ」と身をもって教えてくれます。  
急がなくてもいいことを急いだり、必要な  
いものを欲しがったりして、さかさまになっ  
て生きている私たちにたいして、「それでい  
いのか」と問いかけているのです。その問い  
かけに出遇うのがお盆のおまいりです。

(大谷大学教授 一楽真氏)

本山発行 子ども会向けリーフレット

「ほとけの子」—お盆—より転載

## 第5回終活セミナー 報告

5月30日(土)、「第5回終活セミナー」を  
開催いたしました(内容については、「こうみ  
よう」第17号のp4参照)。新型コロナウイルス  
感染症の感染拡大の心配もあり、初めての  
試みでありましたが、「Zoom(ズーム)」とい  
う会議用アプリケーションを使って、インタ  
ーネットを介したりリモート(複数の対象が離  
れた状態)で開催いたしました。

つまり、会場であるお寺に来ることなく、  
参加することができるというものです。

講師である星野哲さんにも、「ご自宅から  
リモート配信でお話しいただきました。

本当はお寺に集まってもらいたいですが、  
今はできません。そんな状況の中でも、新た  
な可能性を感じたセミナーになりました。

遠近各地より20数名の参加がありました。



画面を見ながらお話しています



お寺に来て見ることも出来ます

## お盆とお彼岸のお参りについて

お盆やお彼岸に、「自宅のお内仏（お仏壇）で、一緒に「正信偈」のお勤めをいたしまし  
よう。亡くなったお身内をご縁として、今を  
生きる私が、ご本尊（本当に尊いこと）に手  
を合わせることは、とても大切なことです。  
お内仏（お仏壇）を整え、静かに手を合わせ  
るひと時を持つことは、自身の生活を整える  
ことにつながります。

- ・お仏壇を見直すことは、生活を見直すこと
- ・いつから始めても結構です
- ・お仏壇が整っているか不安でも結構です

「自宅のお内仏（お仏壇）を、私にとって  
かけがえのないものに変えていきましょ

う。」自宅へお伺いいたしますので、日時な  
ど、お寺にご相談ください。



## 写教の会

教えの言葉を書き写す「写教」の会です。

開催日… 7月8日・8月19日・9月16日  
水曜日の14時～17時まで開けて  
いますので、出入り自由です。

参加費… 無料

「正信偈」を書写しますので、筆ペン又は  
書道道具をご持参ください。

## 光明寺同朋の会（法話の会）

親鸞聖人が書かれた「正信偈」には、どの  
ような教えが記されているのでしょうか。  
少しずつですが、学んでまいります。

開催日… 7月18日・8月22日・9月26日  
土曜日の14時～16時半まで

法話… 光明寺住職

参加費… 500円

初回の方はテキスト代600円

※皆さまのご参加をお待ちしております。

## 体幹らくらくヨガ

お寺で、リラックスした気持ちでヨガを体  
験してみませんか。無理なく体を動かしなが  
ら、自然と体の内側を鍛えることが出来ます。

開催日… 毎月第2火曜日の10時半～11時半  
（7月は第1火曜日）  
毎月第4火曜日の19時～20時  
（9月は第5火曜日）

※月に2回開催しています。

参加費… 1,000円

新型コロナウイルスの感染を防ぐため

お寺は対策をとります!!

安心して、ということはもちろん言えない  
のですが、三密を避け、ソーシャルディス  
タンスを保てるよう配慮していきます。

- ・窓を開けて換気をします
  - ・手の消毒液を常備しています
  - ・拭き掃除をこまめにしています
  - ・参詣席は間隔を空けています
  - ・法要中、住職はマスク着用しています
- ご参詣の皆様には、お出かけの前には検温  
し、マスクを必ず着用していただきます。

感染を恐れながらも、大切な御仏事をお勤  
めしてまいります。